



## 謹賀新年

皆様あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

目下の経済環境は、食料・資源価格・電気料等の高騰が続いている一方で、コロナウイルス蔓延の影響から漸く脱しつつあるという明るい兆しがあります。今春以後、金利政策が変更されるのではないかと観測があり、それが国内・地域経済やお客様の事業に幅広く影響するのではないかと注目しています。今年は大きな変化の年になるのではないかと少し身構えておりますが、変化をピンチでなく行動を変えるチャンスと捉えたいと思います。

税制では毎年何らかの改正がありますが、これも変化のチャンスと捉えたいと思います。具体的には、今年10月からのインボイス制度の施行、来年1月施行の電子帳簿保存法の改正があります。人手不足と相まってこれらは社内の経理面の合理化（いわゆるDX化）を促す機会としたいものです。また、税制改正は国内経済に対する政策のメッセージであり、2枚目の概要をご覧ください、是非参考にさせていただきたいと思います。

昨年のワールドカップサッカーでの日本代表の活躍は、先進国に挑んで成果を挙げ、日本のみならずアジア諸国を大いに勇気づけた点で、大げさかもしれませんが私は日露戦争のことを思い出しました。本気でちゃんと準備し一丸となれば、驚くような結果が出せるということを胸に、クライアントの皆様にご貢献できますよう励みます。

公認会計士・税理士 植村義弘



コロナ・パンデミックの出口が見えつつある中、紛争等の発生による世界的な経済情勢が依然不安定な状況が続いていますが、経済環境はこれから混乱の中から平時に向けて振幅しながら収束していくと考えられます。また、税制は人口減少・少子高齢化等の国内の構造変化、その他国際社会の変化に対応した経済社会の醸成を後押しするために、今後も継続的に改正されていくものと推測されます。

近年と同様に変化の大きな時期ですが、過去に囚われず、その変化の方向を見誤らずに常に先を見据えて行動し、会計・税務の部分ではありますが、皆様の一助になれるよう活動してまいります。

公認会計士・税理士 大倉 然

